

平城宮第一次大極殿の建物復原

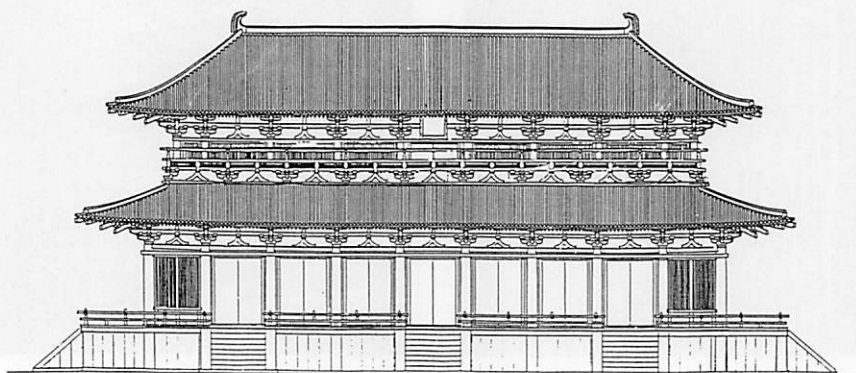
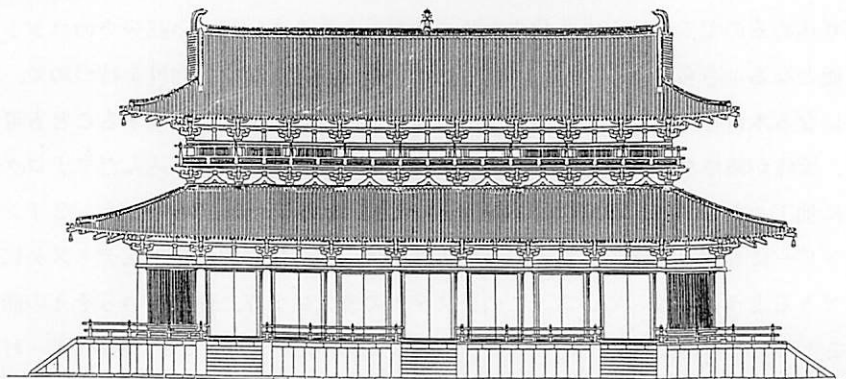
平城宮第一次大極殿地区復原整備のための基礎調査の事業プログラムのうち、第一次大極殿の建物復原について、本年度は設計のための基礎的な資料を収集するとともに、設計の基本的方針を決定して行くため、諸種の検討を行った。このために伊藤延男・岡田英男・濱島正士の諸氏を委員に迎えて復原設計部会を開催し、所内での検討を踏まえて議論を行った。復原設計部会は6回開催し、他に3回の小部会を開いた。その検討内容は以下の通りである。

部 会

第1回 5月25日 遺構特に大極殿平面の再検討, 第2回 6月22日 大極殿の機能の史料学的検討, 第3回 7月27日 基壇構造および大内裏図考証の検討, 第4回 9月24日 基壇の矩計り及び平面・立面の検討, 第5回 11月12日 大極殿案の比較検討、『古事類苑』所収史料と中国・朝鮮の事例紹介, 第6回 1月6日 復原の具体的問題(意匠・構造)

小 部 会

第1回 10月15日 大極殿構造の検討, 第2回 12月18日 大極殿・廻廊・閤門・東西楼閣全体の検討, 第3回 2月4日 廻廊・閤門・東西楼閣の検討 (山岸常人)



大極殿復原の二案